

令和5年度秦野市教科用図書採択検討委員会 調査研究報告書

秦野市教科用図書採択検討委員会

委員長 加藤 淳也

本検討委員会では、来年度使用する秦野市立小学校の教科用図書について、5月の教育委員会会議において議決された「令和6年度に秦野市立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針」に基づき、秦野市・平塚市・伊勢原市・大磯町・二宮町合同で設置された調査員会の調査研究の結果等をもとに審議を行いました。その結果を報告いたします。

令和6年度に小学校で使用する教科用図書についての各者別審議内容

【国語】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で身につけたい力が示され、単元の終末部分においては、生活や学習で学んだことを生かすための「生かそう」という学習活動が示されている。 ・著名人が夢や願い、仕事、よりよい未来づくりについて語る「未来を生きる君へ」が掲載されており、子どもたちの発達段階や興味関心に合わせた内容となっている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域によって、SDGsの視点に立った読み物を取り入れ、巻頭の「ひろがる言葉」において、SDGsの目標が示されている。 ・各領域において、自分たちの生活と結びついた親しみのある内容活動となるように、日常生活や学校生活に関連した題材が設定されている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・書くこと、読むことについて、事前の学びを踏まえて、学習に臨むことができるような構成となっている。 ・言葉を学んでいるキャラクターが登場し、失敗を通じて成長する「言葉について考えよう」が掲載され、よくある間違っ言葉の伝え方を示すことで、どのようにいえばよかったのか考える学習活動が記載されている。
<p>主な審議内容及び検討結果</p>	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの教科書もレベルが高い。どこを重視するかというところで、ICTの活用については、ただ見て自主学習ができるだけでなく、活用の仕方や次に生かしていくような要素を重視したい。 ・東京書籍は学習の流れが丁寧に書かれている。 ・光村図書は考えるための「問い」が散りばめられている。 ・東京書籍は先生方にとっては扱いやすいが、「考える」という点でどうか。 ・教育出版は6学年とも上下巻に分かれていて、重さに考慮している。 ・東京書籍は最近のものを教材として取り上げている。 ・光村図書はオールマイティな教材が載っている。 	

【書写】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none">・左利きにも分かりやすいように、写真が大きく掲載されている。・始筆、送筆、終筆の運筆のページが、大きく見開きで掲載されており、「とん」「すー」「ぴた」などのオノマトペも、全学年共通して使用されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none">・学習の初めのためし書き、学習の終わりにまとめ書きをして、自分の書き方がどのように変化したかを見とれるようになっている。・「書いて伝え合おう」という、相手意識や目的意識を持たせようとしたコーナーが設定されている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none">・硬筆の入門期の一年生では、「しよしゃすたーとぶっく」が、毛筆が始まる三年生では「毛筆スタートブック」が掲載されている。・他教科との関連を意識しており、特に国語との連携を図ることによって、国語の時数を短縮できるようになっている。
主な審議内容及び検討結果	
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none">・左手の持ち方について、東京書籍は写真が大きく掲載されていてよい。・登場人物の男女比などにも各者配慮されている。・左手の持ち方などは、物理的に机の上はいっぱいなので、タブレットを見ながらでなく、教科書に記載されているとよい。・各者で国語との連携具合が違うが、同じ方が望ましい。・光村図書は国語との連携が強く、国語と揃うとよりスムーズになる。	

【社会】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・学年により冊数が異なっている。 ・「学び方コーナー」を設け、見学の仕方やグラフの読みとり方、新聞へのまとめ方、動画資料の見方等がまとめられている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県の内容が3年生全ての単元に掲載されていて、6年生では本市の移住を体験できる施設が掲載されている。 ・学習の見通しをもって進められるように、各単元が「つかむ」「調べる」「まとめる」で構成されている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsと関連のある諸課題について、単元の最後にコーナーが設置され、巻末にシールが掲載されている。 ・学習問題の追及・解決のために、どのような力を身につけるか、脚注インデックスが設定されている。
主な審議内容及び検討結果	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く」「調べる」「まとめる」の流れが示されていて、東京書籍は「生かす」、日本文教出版は「掘り下げる」がある。 ・教育出版は身近なことが多く載っており、そこから学びやすいのではないかと。 ・教科書に載っている内容は県内であっても身近でないこともある。市のことは市作成の教材で補える。 ・教育出版はICTを活用した表現活動が載っていてよい。 ・SDGsの観点について、日本文教出版は巻末にシールがあつて主体的に学べる。 	

【地図】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none">• 地形の陰影表現がなく、文字が分かりやすくなっており、イラストが随所に掲載されている。• 巻末に見開きで日本の自然災害が掲載されている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none">• SDGsの特設ページが設定されており、世界地図でSDGsの関連が分かるようになっている。• 日本と世界の国々のつながりが分かるようにイラストが掲載されている。
主な審議内容及び検討結果	
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none">• 3年生から使うので、帝国書院は始めに易しい地図が掲載されていてよい。• 地図帳は、付加情報よりも地図の見やすさが一番大事だと思うので、帝国書院は見やすい。• 東京書籍は、情報量が多く、中学生でもよい量に思われる。• 授業中で地図帳を使い切るのはなかなか難しい。• 地図帳だけの授業がないのであれば、ある程度シンプルなほうが使いやすくてよいのではないか。	

【算数】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間にめあてとまとめが提示されており、何をこの時間に学び、何を身に付けたいかが分かるようになっている。 ・これまでに学習してきたことを使いながら、図や式、言葉を用いて、新たな問題を解決する経験を積み重ねられるよう、「今日の深い学び」が掲載されている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「算数の大切な考え方」のコーナーがあり、問題解決に使える味方・考え方を「ひらめきアイテム」としてまとめられるページが設定されている。前の学年で学習したことともつなげて考えられるようになっている。 ・「じっくり深く学び合おう」が設定されており、具体物、図、式、言葉等を用いて自分の考えを表現する活動や多様な解決方法の比較検討を通して、話し合うことで深い学びを実現できるよう工夫されている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習の中で様々な見方・考え方を身に付けられるよう、「考え方モンスター」というキャラクターが設定されている。 ・児童が開きやすく、作業や書き込みがしやすいよう、横幅の広いAB板が採用されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気づきから、問いの連続で学習が進められるよう、問題発見から解決の流れまでが「はてな→なるほど→だったら」の吹きだしで掲載されている。 ・単元導入部では、児童にとって身近な題材から、試行錯誤をくり返ししながら児童自らが学習すべき知識等を習得する流れが設定されている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにつながる児童の問いや気づきが「めばえ」としてマークを付けて示されるとともに、すべての時間にめあてが掲載されている。 ・説明の仕方や話し合いの見本となるよう、図や式とともに、多様な考え方が吹き出しで掲載されている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、「めあて」と「まとめ」が設けられており、学習の流れが分かるようになっている。 ・身に付けた力を用いて、収集されたデータを活用して取り組む探究的な問題として、SDGsや防災等の今日的課題や、他教科とのつながりのある題材が設定されている。
主な審議内容及び検討結果	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育出版はめあてをあえて示さないことで、子どもに気づかせるようになっている。 ・東京書籍は単元の最初が工夫されていて、考える部分が次のページになっている。 ・小数の学習の導入にdLを扱うのは実生活に馴染まないのではないか。教育出版は使っていない。 ・授業は分かる子のペースで進んでしまう。めあてとまとめがあるという流れがよい。 ・学期末のまとめが多いと負担になりかねない。大日本図書、日本文教出版、東京書籍はやってもやらなくてもよいという記載がある。 	

【理科】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA4判であり、別冊はなく年間を通じて一冊である。判を生かした図版や写真が掲載されている。 日常生活を理科の視点で見直すことで、理解の深まりと自らの将来との関連が捉えられるよう「理科の世界探検部」や「広げよう！理科の発想」が掲載されている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA4判であり、別冊はなく年間を通じて一冊である。判を生かした図版や写真が掲載されている。 巻頭に育成する問題解決の力が言葉で表され、各単元の問題解決の場面では、「ココに注目」が掲載されている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> 学習に関連した社会や生活、発展的な内容が「もっと知りたい」「やってみよう」等で掲載されている。 巻頭に「理科モンスター」として育成する問題解決の力が示され、各単元の問題解決のポイントとなる場面では、キャラクターがポイントを示す形で掲載されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に育成する問題解決の力が言葉で示され、各単元の問題解決の場面では、「見方のカギ」「考え方のカギ」というマークと合わせてポイントとなる言葉が掲載されている。 学習内容と関連した実生活の事象や実社会で活躍する人物等が、「メッセージ」等として掲載されている。
信州教育出版社	
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容と社会や日常生活の関連が実感できるよう、「理科の広場」「くらしとリンク」が掲載されている。 巻頭で育成する問題解決の力が言葉で示され、各単元では、マーカーで強調された問題解決のポイントとなる言葉や考え方が掲載されている。
主な審議内容及び検討結果	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験用具の取り扱いについて、巻末にあるものが多いが、使いにくくはないか。 教育出版は裏表紙に安全のための記載がある。 どの教科書も同じような構成になっている。 学校図書は裏表紙でSDGsとの関連が掲載されていて、総合的な学習の時間とつなげやすいが、単元の中にもあるとよい。 大日本図書や東京書籍はいきなり結論ありきでなく、流れが見やすい。 A4判で大きいのもよいが、他の教科書と同じ大きさのほうが使いやすいという視点もある。 	

【生活】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン、人権上の配慮、SDGsへの取り組み、感染症対策等を意識して作成され、650点を超えるデジタルコンテンツが掲載されている。 ・校庭や公園、町や地域の行事等の季節の変化が比較できるよう、イラストや写真、吹き出しが掲載されている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等による児童の感性を刺激するページが設定され、児童が考えを直接書き込める欄や、無理なく振り返ることができる「きもちマーク」が設定されている。 ・児童の興味・関心を引き出す工夫として、意図的に白黒写真が掲載されている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への興味がわき、活動の見通しをもてるような表紙が設定されている。 ・季節の変化に気付いたり、自分の地域と比較したりする資料として、人々や地域の様子、各地の行事や祭り、自然が写真や挿絵で掲載されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学びに向かう力の育成を目指し、「学びが見える」「学びが広がる」「学びがつながる」の3点を意識した場面が設定になっている。 ・言語活動・絵・カード・身体表現等学習内容に適した表現活動が掲載されている。
信州教育出版社	
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者の皆様へ」というコーナーが設定され、保護者の協力を仰ぎたい内容や家庭での声掛けのヒントが掲載されている。 ・安全、生活習慣、学習方法を身に付ける資料として、上下巻末に「ひろがるせいかつじてん」が掲載されている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いをもつ「わくわく」、活動や体験をする、感じる・考える「いきいき」、伝え合う・振り返る「ぐんぐん」の3段階構成になっており、学習の見通しをもてるよう設定されている。 ・スタートカリキュラムの充実と3年生以降への接続等、つながりを意識した構成になっている。
主な審議内容及び検討結果	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光村図書の取り外しができる部分は子どもがなくす心配もあるが、使いやすい。 ・ICTの扱いに差がある。市としてはタブレット端末を活用していく方向なので、重視したい。 ・啓林館には二次元コードを読みとった後の使い方が載っている。 ・イラストと写真のバランスが考えられている。 ・3年生へのつながりは大切である。 ・生活科では、気づきから自分の生活につなげ、その後の理科や社会につながっていく。 	

【音楽】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
教育出版	<ul style="list-style-type: none">・児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう、学習活動の手順が示されている。・低学年では身体表現や遊びの要素を取り入れた活動、中学年ではかけ合いや音の重なりに気付けるような活動、高学年では主体的に表現を工夫できる活動が設定されている。
教育芸術社	<ul style="list-style-type: none">・吹き出し等で児童の考えや工夫の視点が例示され、歌唱や器楽、鑑賞と関連させながら、学年が上がるごとにステップアップした音楽づくり教材が設定されている。・学習のまとめりに学びを振り返ることができるように設定されている。
主な審議内容及び検討結果	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・教育出版は手話を意識的に取り入れている。・教育出版の二次元コードは、作者の話など広く取り上げていて使いやすいのではないか。・教育芸術社では、市出身の指揮者が大きく取り上げられている。教育出版はそれよりは小さいが同じ人物が掲載されている。・どの教科書も同じ曲を多く扱っている。	

【図画工作】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてが各題材に示され、当該題材で特に育成を図りたいものには、下線が引かれている。 ・造形的な発想の見方や考え方を広げるために、短時間で発想の方法を知り、気軽に楽しみながら取り組むことのできる「ひらめきショートチャレンジ」が掲載されている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な見方や手法等の発想の方法を例示する「図工のみかた」が設定されている。 ・児童の主体的な活動を支援するために、既習の用具の使い方をいつでも見ることができるデジタルコンテンツが設定されている。
<p>主な審議内容及び検討結果</p>	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらも見やすい工夫がしてある。 ・日本文教出版は文字情報がやや多い。 ・開隆堂は写真がアップで大きい。 ・版画の指導について、開隆堂は滑り止めを敷く記載があり、日本文教出版は作業版を使うようになっている。 ・中学校では、作業版を使うことも多い。 ・日本文教出版には、作った作品を活用する視点がある。 	

【家庭】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	・仕事や生活への興味が高まるように、コラム「プロに聞く！」で家庭科に関連する職業の人へのインタビュー記事が掲載されている。 ・学んだことを生かし、生活をよりよくするために「生活を変えるチャンス」が掲載されている。
開隆堂	・各題材の始めに家庭科の見方・考え方が示されている。学習途中にはキャラクターがアイコンをもって登場することで見方・考え方を働かせるための手助けになっている。 ・基礎・基本の定着がスモールステップでできるように、レベル別に製作例が掲載されている。
主な審議内容及び検討結果	
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none">・東京書籍は動画でプロに聞くコンテンツがある。・開隆堂は調理などについて、時間の流れが分かりやすい。・包丁の使い方について、どの教科書も左利きの記載がある。・東京書籍は用具の扱いが実物大で分かりやすい。・食材の扱いについて、どの教科書も巻末に掲載されている。	

【保健】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> •けがの防止の単元では、小学生の死亡事故の原因のグラフや、学校生活でのけがをした場所・時間、けがの箇所をまとめたグラフが掲載されている。 •同年代の不安や悩みについて独自に調査した資料が掲載されている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> •児童が迷いなく学習に取り組めるよう1時間当たりの主な流れがページの左側に掲載されている。 •児童が集中して学習に取り組むことができるよう、学習課題等を隠すことができる折り込みが巻頭に設定されている。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> •思考・判断したことが表現できるよう、児童が考えたり、まとめたりする場面での記入スペースが設定されている。 •新しい感染症の問題やICTの進展等の急速な社会の変化の中で差し迫っている健康課題が取り上げられ、資料として掲載されている。
文教社	<ul style="list-style-type: none"> •主体的な学びの実現に向けた工夫として、各マークと共に次の学習へのつなぎとして、思考をうながす内容が設定されている。 •「身長のものびる様子」や「体重のふえる様子」を折れ線グラフにまとめた文部科学省の資料が掲載されている。
光文書院	<ul style="list-style-type: none"> •毎時間の終わりに、学習した知識を実社会や実生活で活用できる力を育てるための活動「学んだことを生かそう」が設定されている。 •巻頭にはスポーツ選手やクリエイターが児童に向けて語る文章が掲載されている。
学研	<ul style="list-style-type: none"> •小学生の喫煙や飲酒のきっかけが、好奇心や周りの人からの誘いであることがグラフ等で掲載されている。 •日常を振り返り、健康課題を見出すことができるよう、各単元のはじめに写真やイラストとともに吹き出し形式で「ふり返ろう」「予想しよう」が設定されている。
主な審議内容及び検討結果	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> •どの教科書もそれほど大きくは変わらない。 •時数の少ない教科なので、簡潔なものでよい。 •ノートが必要ないように、教科書に記入欄があるとよい。 •過ぎてしまうと風化してしまうので、新型コロナウイルスについて多めに触れていることは重視したい。 •不安や悩みの調査について、東京書籍は独自に調査しており、大修館は内閣府の資料を掲載している。 	

【英語】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習内容の定着を図るパートは、「Let's Watch」「Let's Listen」「Let's Try」で構成され、実際の言語の使用場面に配慮されている。6年生からは「Let's Read and Write」も設定されている。 各Unitの終わりに、言語の背景にある文化を知るための題材として、「Over the Horizon」が設定されている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 「Word Book」が各学年で別冊になっている。語彙の書かれている4線は、第2線と基線の間が広くなっている。紙面の二次元コードを読み取ると、全ての単語の発音が収録されている。 5年生の教科書冒頭部分「Let's Review！」に3～4年生で学習した内容が掲載されている。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 「My Dictionary」が別冊で、5年生から2年間使用することになっている。語彙は4線の中に書かれている。紙面の二次元コードを読み取ると、「音の出る絵辞典」が収録されている。 「Hello, World!」のコーナーにおいて、教科横断的な情報に触れる機会が設定されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 5年生には9Lesson、6年生には8Lessonが設定され、各単元の流れは一定に揃えられている。各Lessonは見開き4～5パートで構成され、5年生は年間計67時間、6年生は年間計62時間で設定されている。 世界の学校の様子、外来語、絶滅危惧種の動物たち、幅広くSDGsを意識した内容が掲載されている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 「Picture Dictionary」が各学年の巻末に別冊として挟み込まれており、本体から取り外して語彙を書き写したり、探したりすることが可能となっている。 5, 6年生通した「世界の友達」では、12か国で実際に生活する小学生のインタビューが掲載されている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも全体が8Unitで構成されている。各Unitは見開き5パートで構成され、いずれも7時間扱いとなっている。各学期の最後には「REVIEW」が設定され、各学年、年間計64時間で設定されている。 各学年の巻末には、各Unitで扱われる語彙が収録されている。
<p>主な審議内容及び検討結果</p>	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画は字幕が出ない設定にできるものがよい。 英語ではコミュニケーション能力を培う。インタビューに応えるのもよい。 書き込みもよいが、書かねばならないとなると教科書が使いにくくなるのではないか。 70時間みっちりではなくてもよい。余裕があることも大切である。 中学校とのつながりも大切。中学校は小学校での学習内容をよく把握して指導している。 	

【道徳】

発行者	調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で、いじめの防止を重点的に取り上げ、2つの教材を組み合わせることでユニットが構成されている。安心・安全、情報モラル、自己肯定感についても、教材とコラムを組み合わせることでユニットが構成されている。 ・各教材末では、学んだことを基に、自己を見つめ、これからの生き方を考えるための発問が設定されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの手引き」として、「かんがえよう」「ふかめよう」「つなげよう」と学び方が設定されている。 ・道徳的行為に関する「体験的な学習」「問題解決的な学習」について、解決策を多面的・多角的に考える学習活動が設定されている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを表す時や、友達の考えを受け止める時の伝え方等が例示されている、「心を通わそう」が掲載されている。 ・学びを深める「考えるヒント」として、役割演技やカードを使った交流等が設定されている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材のほか、マンガや写真等、様々なジャンルの教材が掲載されている。 ・問題解決的な学習や体験的な学習の手法を用いた効果的な展開の様子を写真で示す「ぐっと深める」が設定されている。
光文書院	<ul style="list-style-type: none"> ・教材数が35+5と多く、事実教材やマンガ形式、写真、一枚絵など多様な教材が掲載されている。 ・全学年を通して、豊かな人間関係を養ったり、自己肯定感を高めたりするために実際の問題場面を想定した活動を行うコラム「みんなでやってみよう！」が設定されている。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さを重要テーマとし、内容項目が異なる2教材を連続して学べるように、いのちユニット「いのち」、多様性ユニット「みんな」、キャリアユニット「みらいへ」が構成されている。 ・主題名は教材ごとではなく、巻末にまとめて掲載されている。
<p>主な審議内容及び検討結果</p>	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光文書院は教材が多い。選択肢がいろいろあったほうがよい。 ・話し合っただけで考えることもよいが、発信に慣れてきている子どもたちには、改めて物語や事例を通して学んでほしい。 ・最近の話題がどの教科書にも散りばめられている。 ・自分に引きつけて考えられる題材が必要。 ・情報モラルは大人でも難しい。ある程度明確な線引きも小学生には必要ではないか。 ・道徳的な価値が様々あるが、重点を置くところが分かりやすいものがよい。 ・学習したことを生活に返していくことを考えると、教材が豊富で色々な選択肢があったほうがよい。 	